

子どもたちの笑顔に触れて

校長 小松 裕和

日本では「酷暑」という言葉が使われるようになりましたが、ここカタールはその意味では連日の「酷暑」ということになります。本当に夏の厳しい暑さを実感する季節となりました。

さて、1学期は6月7日に対面授業を再開し、子どもたちも日本人学校の校舎で元気に学校生活を送れるようになりました。ただ、1学期末に入り、数か月平和な状況が続いていたカタールでも緊急アラートが鳴り、緊張する場面が出るなど子どもたちの中でも少し不安を感じている子もいました。また、今週は1学期最終週でしたが、元首長のハマド・ビン・ハリーファ・アール・サーニー氏がお亡くなりになられ、それに伴い学校も4日間の臨時休校となり、終業式をオンラインで行わざるを得ない状況となりました。子どもたちにとっては、やっと学校が再開し、みんなで一緒に過ごす楽しさや喜びを感じている矢先だったため、本当に残念でありませんが、日本と様々な関係を築き上げていただいた元首長の訃報ですので、心からご冥福を祈りたいと思います。

このような状況ですが、1学期を振り返ると、私たち教員にとっても「初めて」の体験がたくさんありました。その一つは教科書が揃わなかったり、日本の学校へ就学している児童生徒がいたりする状況や日本とカタールの時差がある中でオンライン授業を実施したこと。子どもたちにとっても画面越しでの授業が続いたり、日本と週休日の違いがあったりする中でストレスもあったと思いますが、それらを解消するように6月からの対面授業や休み時間、全校活動やJSD祭りなどではたくさんの笑顔を見せてくれました。そして、何より嬉しかったことは、このような活動の中で

「ありがとう」「がんばれ～」「大丈夫？」などたくさんの優しい言葉が聞こえてきてことです。その姿や言葉を聞いた教員も心温まる思いがしました。今年度の学校経営方針の中で、3つの「いい」（いい声、いい顔、いい姿）を子どもたちの合言葉にという話をしていたので、少しずつ浸透していることを実感していました。そこで、1学期の最終日には、例年以上に転出していく児童生徒が多いこともあり、様々な困難を共に乗り越えてきた子どもたちに改めてその絆を確かめ合う場として「お別れ会」を企画していました。その場がなくなることは悲しいという保護者や子どもたち、教員からの声もあり、急遽、18日（土）に開催することにしました。学校再開後、友達と積極的に関わろうとする姿や笑顔に支えられた1学期でした。その集大成が18日にも見られたことに感謝します。

保護者の皆様には、1学期の大変苦しい時期、再開後の教育活動にもご支援とご理解をいただきましたことに心より御礼申し上げます。また、2学期からも教育活動を充実できるように教員が一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。



令和8年度

8・9月行事予定

ドーハ日本人学校

日	曜	学校行事等	下校刻
30	日	2学期始業式、発育測定、弁当なし	11:25
31	月	委員会活動、夏休み学習展示会開始	15:15
1	火	7時間授業	15:15
2	水		15:15
3	木	水泳学習（5・6校時）	14:20
4	金		
5	土		
6	日	中学部学力テスト	15:15
7	月		15:15
8	火	7時間授業	15:15
9	水	避難訓練	15:15
10	木	水泳学習（5・6校時）	14:20
11	金		
12	土		
13	日		15:15
14	月		15:15
15	火	6時間授業	14:15
16	水	委員会活動	15:15
17	木	授業参観	15:15
18	金		
19	土		
20	日		15:15
21	月		15:15
22	火	7時間授業	15:15
23	水		15:15
24	木	水泳学習（5・6校時）	14:20
25	金		
26	土		
27	日		15:15
28	月		15:15
29	火	7時間授業	15:15
30	水	委員会活動	15:15
【10月の主な行事予定】 ・1日（木） 水泳学習（5・6校時） ・4日（日） 第2回英語検定 ・8日（木） 校長会（授業日） ・15日（木） 水泳記録会 ・27日（火） 砂漠キャンプ説明会			授業日数 24日